

助産師国家試験出題基準

助産師国家試験出題基準・目次

基礎助産学Ⅰ	助- 1
基礎助産学Ⅱ	助- 5
助産診断・技術学Ⅰ	助-13
助産診断・技術学Ⅱ	助-15
地域母子保健	助-26
助産管理	助-28
索引	助-31

【基礎助産学Ⅰ】

目標Ⅰ. 助産の基礎的な概念、対象の特性及び助産活動について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 助産の概念	A. 助産・助産師の定義	a. 保健師助産師看護師法
		b. 世界保健機関<WHO>
		c. 国際助産師連盟<ICM>
	B. 助産師の役割と責務	a. 助産の意義
		b. 世界保健機関<WHO>
		c. 国際助産師連盟<ICM>
		d. 日本助産師会、日本看護協会
		e. 助産師の職業倫理
	C. 助産援助の展開	a. 診断に基づいた援助
b. 正常な経過への援助		
c. 問題解決への援助		
2. 性・生殖と人権と倫理	A. 女性の性、生殖の基本的な概念	a. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
	B. 基本的人権とインフォームド・コンセント	a. 対象の権利の尊重
		b. インフォームド・コンセント
		c. 多様な文化への理解
	C. 性と生殖における倫理、女性の意思決定と擁護	a. 助産師業務と生命倫理
		b. 母体保護
		c. 出生前診断
		d. 不妊治療
		e. 予後不良児
3. 助産・助産師の変遷	A. 助産の変遷	a. 日本の助産の変遷
		b. 諸外国の助産の変遷
	B. 助産師の変遷	a. 日本の助産師の変遷
		b. 諸外国の助産師の変遷
4. 助産師教育	A. 助産師教育の変遷・歴史	a. 助産師教育の歴史
		b. 諸外国の助産師教育の歴史
	B. 助産師教育の現状	a. 日本の助産師教育
		b. 諸外国の助産師教育

目標Ⅱ. 基礎的な女性のライフサイクルを通じた性と生殖の健康課題、性と生殖に関連する疾患及び異常について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	
5. 女性のライフサイクル各期における健康課題	A. 女性のライフサイクル各期における身体変化の特徴と健康課題	a. 思春期女性の第二次性徴と健康課題	
		b. 成熟期女性の性周期と生殖機能と健康課題	
		c. 更年期女性の卵巣機能低下と健康課題	
		d. 老年期女性の加齢と健康課題	
	B. 女性のライフサイクル各期における心理社会的課題	a. 思春期女性の心理社会的課題	
		b. 成熟期女性の心理社会的課題	
		c. 更年期女性の心理社会的課題	
		d. 老年期女性の心理社会的課題	
	C. 家族のライフサイクル	a. 家族の機能と役割	
		b. 家族の発達課題	
	D. 母性・父性と親性の発達	a. 母性の発達	
		b. 父性の発達	
		c. 親性・育児性の発達	
	E. 性役割とジェンダー	a. 生物学的性差とジェンダー	
		b. ジェンダーアイデンティティ	
c. 性役割			
6. 性と性行動	A. 性	a. 性とセクシュアリティ	
		b. 発達段階とセクシュアリティ	
		c. 多様な性	
	B. 性行動	a. 性行動の生理と心理	
		b. 性反応	
		c. 性機能の分類・障害・治療	
7. 母子の健康に影響を及ぼす因子	A. 栄養	a. 栄養状態の評価法	
		b. 栄養所要量	
		c. 食生活習慣、食生活指針	
		d. 有害物質の摂取	
		e. 成人病胎児期発症説	
	B. 物理・化学的環境	a. 放射線	
		b. 電磁波	
		c. 大気汚染	
		d. 環境汚染物質と環境ホルモン	
	C. 嗜好・薬物	a. 喫煙	
		b. 飲酒	
		c. 薬物乱用	
	8. 性と生殖の構造・機能・発生	A. 人体の発生	a. 染色体と遺伝子
			b. 遺伝の法則
			c. 精子形成・卵子形成の過程
d. 減数分裂（第1・第2減数分裂）			
e. 初期胚の発生分化			
f. 着床			
g. 性分化			

大項目	中項目	小項目	
	B. 男性生殖器の構造・機能・発生	a. 男性生殖器の構造	
		b. 男性生殖器の機能	
		c. 男性生殖器の発生	
	C. 女性生殖器の構造・機能・発生	a. 女性生殖器の構造	
		b. 女性生殖器の機能	
		c. 女性生殖器の発生	
	D. 骨盤底の構造と機能	a. 骨盤底および外陰の軟産道の筋構造	
		b. 骨盤底および外陰の血管構造（腔壁に分布する動脈）	
		c. 骨盤底および外陰の神経構造	
		d. 骨盤底の靭帯の構造	
	E. 性周期と調節機序	a. 中枢神経系と性機能調節	
		b. 卵巣機能、卵胞発育とその機能	
		c. 子宮内膜の増殖・分化とその機能	
		d. 月経	
		e. 子宮頸部の性周期に伴う変化	
f. 性周期が心身に及ぼす影響			
9. 性と生殖に関連する薬物	A. 思春期、成熟期、更年期と薬物	a. 経口避妊薬	
		b. 排卵誘発剤	
		c. 性ステロイドホルモン薬	
	B. 妊娠・分娩・産褥・授乳期と薬物	a. 子宮収縮薬	
		b. 子宮収縮抑制薬	
		c. 薬物の催奇形性	
		d. 薬物の胎盤通過性	
		e. 薬物の母乳移行	
		f. 乳汁分泌に影響する薬物	
		g. 救命処置のための薬物	
	10. 先天異常	A. 常染色体異常	a. Down<ダウン>症候群
			b. 18 トリソミー
			c. 13 トリソミー
		B. 性染色体異常	a. Klinefelter<クラインフェルター>症候群
b. Turner<ターナー>症候群			
C. 遺伝子疾患		a. 常染色体優性遺伝	
		b. 常染色体劣性遺伝	
		c. X連鎖劣性遺伝	
D. 胎内感染症		a. 風疹	
		b. サイトメガロウイルス感染症	
		c. トキソプラズマ感染症	
		d. 梅毒	
		e. 単純ヘルペスウイルス	
		f. ヒトパルボウイルスB19	

大項目	中項目	小項目
	E. 薬剤その他による影響	a. サリドマイド b. 有機水銀 c. ビタミンA過剰摂取 d. ワルファリン e. アルコール f. 覚醒剤
11. ライフサイクル各期に起こる主な疾患	A. 小児期の疾患	a. 先天性代謝異常
		b. 性分化異常
		c. 外性器の外傷
		d. 早発思春期
	B. 思春期の疾患	a. 月経異常
		b. 性器奇形
		c. 摂食障害
		d. 精神・心身医学的疾患
	C. 成熟期の疾患	a. 月経異常
		b. 生殖器の腫瘍
		c. 子宮内膜症
		d. 乳房疾患
	D. 更年期の疾患	a. 月経異常
		b. 更年期障害
		c. 脂質異常症（高脂血症）、糖尿病
		d. 虚血性心疾患
		e. メタボリックシンドローム
		f. 更年期うつ
	E. 老年期の疾患	a. 萎縮性膀胱炎
		b. 排尿障害、尿失禁、過活動性膀胱
c. 骨盤臓器脱		
d. 感覚器疾患		
e. 骨粗鬆症		
f. 性交障害		
12. 生殖器の感染症	A. 性感染症<STI>	a. 性器ヘルペス
		b. 尖圭コンジローマ
		c. 後天性免疫不全症候群<AIDS>
		d. クラミジア感染症
		e. 淋菌感染症
		f. スピロヘータ感染症
		g. ヒトパピローマウイルス<HPV>
		B. その他の感染症
	a. 尿道炎	
	b. 子宮頸管炎	
	c. 膣周囲炎	
	d. 細菌性膣炎	
	e. カンジダ症	
	f. トリコモナス膣炎	
g. 疥癬		

大項目	中項目	小項目
13. 不妊症	A. 女性側原因	a. 排卵障害
		b. 卵管の障害
		c. 子宮の障害
		d. 性交障害
		e. 卵子のエイジング
		f. その他の因子
	B. 男性側原因	a. 精子形成障害
		b. 精管通過障害
		c. 性交障害
	C. 生殖補助医療	a. 人工授精
		b. 体外受精
		c. 顕微授精
		d. 配偶子・胚凍結

【基礎助産学Ⅱ】

目標Ⅰ. 助産の基礎となる正常な妊娠・分娩・産褥経過と新生児、乳幼児の健康水準の診断について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 妊娠の成立・維持	A. 妊娠の成立	a. 卵胞発育と排卵
		b. 造精機能と射精
		c. 受精の機序
		d. 着床の機序
B. 妊娠の維持	a. 妊娠の維持とホルモン	
	b. 妊娠の維持機構と免疫	
2. 胎児	A. 胎児の発育	a. 妊卵<胚>・胎芽・胎児
		b. 胎児の形態と発育
	B. 臓器の成熟と器官形成 (器官分化期または 臨界期)	a. 感覚器系
		b. 呼吸器系
		c. 循環器系
		d. 消化器系
		e. 血液、造血器系
		f. 泌尿器・生殖器系
		g. 神経・運動器系
		h. 内分泌・代謝系
		i. 免疫系
3. 胎児付属物	A. 卵膜	a. 卵膜の構造
		b. 卵膜の機能
	B. 羊水	a. 羊水の生成過程
		b. 羊水の機能
	C. 臍帯	a. 臍帯の構造
		b. 臍帯の機能

大項目	中項目	小項目	
	D. 胎盤	a. 胎盤の形態と機能 b. 胎児－胎盤系循環 c. 物質の胎盤通過性	
4. 妊娠による母体の変化	A. 生殖器の変化	a. 子宮	
		b. 膣	
		c. 子宮付属器	
		d. 外陰部	
		e. 乳房	
		f. 正常妊婦の腔内環境	
	B. 全身の変化	a. 内分泌	
		b. 呼吸	
		c. 循環	
		d. 消化	
		e. 栄養、代謝	
		f. 排泄	
		g. 皮膚、粘膜	
h. 神経系			
i. 感覚器系			
C. 免疫能の特性	a. 胎児の免疫学的機能		
	b. 母体－胎児間の免疫		
5. 妊娠中の栄養	A. 母体栄養と胎児の発育	a. 母体低栄養と胎児の発育	
		b. 栄養過剰摂取と胎児の発育	
		c. 非妊時の体格（やせ、肥満）と胎児の発育	
		d. 妊娠中の栄養所要量	
		e. ビタミン、鉄、葉酸、カルシウム	
		f. 喫煙	
		g. 飲酒	
		h. 嗜好品	
	B. 母体栄養と妊娠合併症	a. 妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠	
		b. 妊娠高血圧症候群	
	6. 妊娠期の心理・社会的変化	A. 心理社会的特徴	a. 妊婦の心理
			b. パートナー・家族との関係性
			c. 母性意識の発達
			d. 母親役割獲得
7. 分娩の基礎	A. 分娩の定義	a. 分娩開始の定義	
		b. 分娩第1期から第4期の定義	
		c. 妊娠期間による分娩の法的・産科学的定義	
	B. 分娩の種類	a. 分娩様式	
		b. 誘発分娩	
		c. 無痛分娩	
	C. 分娩の三要素	a. 胎児と胎児付属物	
		b. 産道	
		c. 娩出力	

大項目	中項目	小項目
8. 正常分娩	A. 正常な分娩経過	a. 分娩の前兆
		b. 分娩開始
		c. 分娩経過と分娩所要時間
	B. 分娩の機序	a. 陣痛発来の機序
		b. 陣痛のメカニズム
		c. 軟産道開大の機序
		d. 破水
		e. 胎児の産道通過
		f. 胎盤の剥離と娩出
		g. 止血の機序
9. 分娩が母体および胎児に与える影響	A. 母体への影響	a. 循環
		b. 呼吸
		c. 体温
		d. 血液
		e. 排泄
		f. 消化
		g. 内分泌
		B. 胎児への影響
	b. 胎児血酸塩基平衡と血糖値	
	c. 児頭の心形機能	
	d. 産瘤、頭血腫、帽状腱膜下血腫	
	e. 気道圧迫	
	f. 胎児機能不全徴候	
	10. 分娩期の心理社会的変化	A. 心理社会的特徴
b. パートナー・家族との関係性		
c. パートナー・家族の心理		
11. 産褥の経過	A. 復古の機序と経過	a. 性器の復古
		b. 全身の復古
	B. 乳汁分泌機序と経過	a. 乳房の形態・機能の変化
		b. 乳汁の産生と分泌
		c. 薬物の乳汁移行
12. 産褥期の心理社会的変化	A. 心理社会的特徴	a. 褥婦の心理
		b. 母親・父親役割の発達
		c. 産褥早期の親子関係
		d. 親と子の絆
		e. 家族関係

大項目	中項目	小項目
13. 新生児の身体・生理的特徴	A. 身体的特徴	a. 身体的発育
		b. 成熟徴候
	B. 生理的特徴	a. 呼吸
		b. 循環
		c. 体温
		d. 血液
		e. 消化・吸収
		f. 排泄
		g. 代謝・内分泌
		h. 神経系
		i. 免疫
		j. 栄養
		k. 皮膚
14. 新生児の行動学的特徴	A. 行動上の特徴	a. 睡眠
		b. 哺乳
		c. 視力
		d. 聴力
		e. 味覚
		f. 行動評価
		15. 乳幼児の正常経過
b. 生理的特徴		
c. 精神発達		
d. 食と栄養		
e. 予防接種		
B. 幼児期	a. 身体的特徴	
	b. 生理的特徴	
	c. 精神発達	
	d. 食と栄養	
	e. 予防接種	
	f. 社会的特徴	

目標Ⅱ. 正常からの逸脱を識別するために必要となる基礎的な妊娠・分娩・産褥・新生児・乳幼児の異常について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目
16. 妊娠期の異常	A. 妊娠疾患	a. 妊娠悪阻
		b. 妊娠高血圧症候群
		c. 妊娠糖尿病
	B. 妊娠持続期間異常	a. 流産、切迫流産
		b. 頸管無力症
		c. 早産
		d. 過期妊娠
	C. 着床異常	a. 異所性妊娠
		b. 前置胎盤
		c. 癒着胎盤

大項目	中項目	小項目	
	D. 胎児性異常妊娠	a. 子宮内胎児死亡	
		b. 胎児発育不全<FGR>	
		c. 血液型不適合妊娠	
		d. 多胎妊娠	
	E. 胎児付属物性異常妊娠	a. 前期破水	
		b. 絨毛膜羊膜炎	
		c. 羊水量の異常	
		d. 常位胎盤早期剥離	
		e. 絨毛性疾患	
	F. 偶発疾患合併妊娠	a. 心疾患合併妊娠	
		b. 呼吸器疾患合併妊娠	
		c. 腎疾患合併妊娠	
		d. 甲状腺疾患合併妊娠	
		e. 糖尿病合併妊娠	
		f. 子宮奇形、子宮筋腫合併妊娠	
		g. 卵巣嚢腫合併妊娠	
		h. アレルギー性疾患合併妊娠	
		i. 精神疾患合併妊娠	
		j. 悪性腫瘍合併妊娠	
		G. 母子感染	a. サイトメガロウイルス
	b. ヒトパルボウイルスB19		
	c. B型肝炎ウイルス		
	d. C型肝炎ウイルス		
	e. ヒト免疫不全ウイルス<HIV>		
	f. 成人T細胞白血病ウイルス		
	g. 単純ヘルペスウイルス		
	h. 水痘ウイルス		
	i. クラミジア		
	j. トキソプラズマ		
	k. 梅毒トレポネーマ		
	l. B群溶連菌		
	m. カンジダ		
	n. ヒトパピローマウイルス<HPV>		
	17. 分娩期の異常	A. 娩出力の異常	a. 過強陣痛
			b. 微弱陣痛
		B. 産道の異常	a. 軟産道強靱
b. 狭骨盤			
C. 胎児の異常		a. 胎位の異常	
		b. 回旋・進入の異常	
		c. 胎児機能不全	
		d. 多胎	
		e. 奇形	
		f. 巨大児	

大項目	中項目	小項目
	D. 胎児付属物の異常	a. 前期破水
		b. 絨毛膜羊膜炎
		c. 臍帯巻絡
		d. 臍帯下垂・脱出
		e. 常位胎盤早期剥離
		f. 前置胎盤
	E. 分娩経過の異常	a. 児頭骨盤不均衡<CPD>
		b. 遷延分娩
		c. 肩甲難産
		d. 子癇発作
		e. 子宮内反症
	F. 軟産道損傷	a. 腔・会陰裂傷
		b. 腔壁裂傷
		c. 頸管裂傷
		d. 子宮破裂
	G. 出血量の異常	a. 弛緩出血
		b. 分娩時出血多量
		c. 第3期出血多量
		d. 第4期出血多量
	H. 産科ショック	a. 出血性ショック
b. 羊水塞栓		
c. 播種性血管内血液凝固<DIC>、産科DIC		
d. 敗血症性ショック		
e. トキシックショック症候群		
18. 産褥期の異常	A. 性器の異常	a. 子宮復古不全
		b. 胎盤ポリープ
		c. 晩期産褥出血
	B. 産褥期感染症	a. 産褥熱
		b. 尿路感染症
	C. 血栓・塞栓症	a. 産褥血栓性静脈炎
		b. 深部静脈血栓・肺塞栓症
	D. 乳頭・乳房・乳腺異常	a. 乳頭亀裂・発赤
		b. 乳汁分泌不全
		c. 乳房うっ積
		d. うつ乳（乳汁うっ滞）
		e. 乳腺炎
	E. 産褥期精神障害	a. マタニティブルーズ
		b. 産後うつ病
		c. その他の産褥精神障害
	F. 産褥後遺症	a. 妊娠高血圧症候群後遺症
		b. 産褥の心疾患
		c. 糖尿病

大項目	中項目	小項目
19. 新生児の異常	A. 新生児の異常徴候	a. 呼吸障害
		b. チアノーゼ
		c. 嘔吐
		d. 腹部膨満
		e. 吐血、下血
		f. けいれん
		g. 麻痺
		h. 発熱
		i. 黄疸
		j. 低体温
		k. 頭血腫
		l. 帽状腱膜下出血
		m. 鎖骨骨折
		n. 腕神経叢麻痺
		o. 外性器の異常
	p. 心雑音	
	q. なんとなく元気がない<not doing well>	
	B. 新生児の疾患	a. 新生児仮死
		b. 新生児低血糖症
		c. 一過性多呼吸<TTN>
		d. 胎便吸引症候群
		e. 気胸、縦隔気腫
		f. 高ビリルビン血症
		g. 新生児メレナ
		h. イレウス
		i. 新生児皮膚疾患
		j. 新生児眼疾患
		k. 外表奇形
		l. 分娩外傷
		m. 感染症
n. 脳性麻痺		
20. 低出生体重児・早産児		A. 低出生体重児および早産児の定義
	b. 在胎週数による分類	
	c. 在胎週数と出生体重による分類	
	B. 低出生体重児の特徴	a. 外観
		b. 呼吸
		c. 循環
		d. 体温
		e. ビリルビン代謝
		f. 水分代謝および腎機能
		g. 血液
		h. 免疫
		i. 消化、吸収、代謝

大項目	中項目	小項目
	C. 低出生体重児に起こりやすい合併症	a. 呼吸窮迫症候群<RDS>
		b. 無呼吸発作
		c. 未熟児動脈管開存症
		d. 未熟児網膜症
		e. 脳室内出血
		f. 脳室周囲白質軟化症
		g. 核黄疸
		h. 壊死性腸炎
		i. 胎便関連性腸閉塞
		j. 敗血症、髄膜炎
		k. 未熟児貧血
		l. 未熟児骨減少症<未熟児くる病>
		m. 低血糖
		n. 低カルシウム血症
	o. 低体温	
	D. 予後	a. 成長・発達
		b. 後遺症
		c. 死亡率
	21. 乳幼児に起こりやすい疾患	A. 感染症
b. 水痘		
c. 突発性発疹		
d. 手足口病		
e. ヘルパンギーナ		
f. 百日咳		
g. RSウイルス感染症（細気管支炎）		
h. 溶血性連鎖球菌感染症		
i. カンジダ症		
j. 伝染性膿痂疹		
k. ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群<SSSS>		
l. 乳幼児下痢症（ロタウイルス、ノロウイルス）		
B. 発育障害		a. 乳幼児の異常に起因する疾患
		b. 哺乳量による異常
	c. 養育環境による異常	
C. 乳幼児突然死症候群<SIDS>	a. リスク因子	
	b. 予防法と指導	
22. 母体、胎児の健康診査に必要な検査についての基礎知識	A. 尿検査	a. 尿蛋白
		b. 尿糖
		c. 尿ケトン体
	B. 血液検査	a. 血液検査一般
		b. 血液型と不規則抗体
		c. 感染症
		d. 血糖、糖負荷試験
		e. 間接Coombs<クームス>検査

大項目	中項目	小項目
	C. 超音波検査	a. 機器の使用法
		b. 超音波胎児計測
		c. 超音波血流計測
	D. 胎児心拍数陣痛モニタリングによる検査	a. 機器の使用法
		b. 陣痛の判読
		c. 胎児心拍の判読
		d. 妊娠期の評価<NST>
		e. 分娩期の評価
	E. 包括的な胎児の健康状態の評価	a. バイオフィジカルプロファイルスコア
	F. 検体検査に必要な知識	a. 検体の採取方法
		b. 検体の取り扱い方法

【助産診断・技術学Ⅰ】

目標. 女性のライフサイクル各期における性と生殖にかかわる健康問題を解決するために必要となる相談・教育・援助技術について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目		
1. 相談・教育・援助活動の概念	A. 相談・教育・援助の基本	a. 対象理解		
		b. 問題解決プロセス		
		c. セルフケア		
		d. エンパワメント		
		e. 仲間づくり		
		f. 仲間支援・ピアサポート		
		g. 女性を中心にしたケア<Woman-centered care>		
	B. 健康教育の基本	a. 健康教育のプロセス		
		b. 教育計画の基本		
		c. 健康教育の展開		
2. 保健指導の技術個人	A. 個別相談の基本	a. 個別相談の特徴		
		b. 個別相談の段階		
		c. 教育的なかかわり		
		d. 相談的なかかわり		
		e. 教材・媒体の活用		
	B. 個別相談の技法	a. 家庭訪問の展開		
		b. 電話相談の展開		
		3. 保健指導の技術集団	A. 集団指導の基本	a. 集団指導の特徴
				b. 集団指導の段階
				c. 教育的なかかわり
d. 相談的なかかわり				
e. 助言的なかかわり				
f. 教材・媒体の活用				

大項目	中項目	小項目
	B. 集団指導の技法	a. 集団指導の展開
		b. 応用される討議法
	C. 学級活動の実際	a. 母親学級
		b. 両親学級
		c. 育児学級
		d. 婚前学級
		e. 性教育
4. 女性のライフサイクル各期における性と生殖に関する健康問題と援助	A. 思春期女性への援助	a. セックスアイデンティティ、ジェンダーアイデンティティの形成
		b. 性と生殖に関する健康教育
		c. 子宮頸癌の予防と支援
		d. 性行動に関する意思決定
		e. 性暴力、DV<ドメスティック・バイオレンス>被害の予防と支援
		f. 性暴力、DV<ドメスティック・バイオレンス>被害者の対応
	B. 成熟期女性への援助	a. 性と生殖に関する健康教育
		b. 性、不妊へのカウンセリング
		c. 人工妊娠中絶へのカウンセリング
		d. 流産・死産時のケア
		e. 就労女性の健康支援
		f. 性暴力、DV<ドメスティック・バイオレンス>被害の予防と支援
		g. 性暴力、DV<ドメスティック・バイオレンス>被害者の対応
		h. 乳がん検診
		i. 子宮がん検診
	C. 更年期女性への援助	a. 健康増進への生活指導
		b. 自己コントロール能力の強化
		c. 不定愁訴への相談指導
		d. 閉経への指導
		e. ホルモン補充療法の指導
		f. 閉経後の性生活の指導
	D. 老年期女性への援助	a. 身体的変化に伴う生活指導
		b. 性生活の指導
	5. 家族計画	A. 家族計画に関する基礎的知識
b. 家族計画の必要性		
c. 家族計画の動向		
d. 受胎調節の推移		
e. 家族計画指導の問題点		
B. 家族計画指導の実施に必要な法的知識		a. 母子保健法
		b. 母体保護法
		c. 薬事法

大項目	中項目	小項目
	C. 各種受胎調節法	a. 基礎体温法
		b. コンドーム
		c. 経口避妊薬・緊急避妊薬
		d. 子宮内避妊具<IUD>
		e. 膣錠、ゼリー
		f. 不妊手術
		g. ペッサリー
	D. 避妊法の指導に必要な基礎知識	a. 生活状況のアセスメント
		b. 定期的な検診
		c. パートナーを含む指導
		d. 産後の回復過程と避妊法の選択肢

【助産診断・技術学Ⅱ】

目標. 妊娠・分娩・産褥各期及び新生児・乳幼児期の正常経過と逸脱の判断及び援助について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 基礎助産技術	A. 診察技術	a. 問診
		b. 視診
		c. 触診（乳房、腹部、Leopold<レオポルド>触診法、Seitz<ザイツ>法、頤部法、後会陰触診法）
		d. 聴診
		e. 内診・双合診
		f. 計測診（身体計測、骨盤計測、腹囲、子宮底長）
		g. 超音波による方法（超音波断層法、Doppler<ドプラ>法）
		h. 胎児心拍数陣痛モニター
	B. 援助技術	a. 生活行動援助技術
		b. 診療の介補技術
	C. 緊急時の対応と応急処置	a. 緊急時使用物品と薬剤
		b. 止血法
		c. 会陰裂傷縫合術
		d. 蘇生法
		e. 出血性ショック時の処置
		f. 非出血性ショック時の処置
		g. 自動体外式除細動器<AED>
		h. 異常出血に対する処置（妊娠前半期、妊娠後半期、分娩時、播種性血管内血液凝固<DIC>、産科DIC）
		i. 新生児の蘇生
		j. 産婦の心理的援助

大項目	中項目	小項目					
	D. 搬送時の対応	a. 母体搬送の適応と対応 b. 新生児搬送の適応と対応 c. 医療チームメンバーとの協働 d. 他の医療機関との連携					
2. 妊娠期の診断	A. 妊娠の診断	a. 問診 b. 妊娠徴候となる身体的変化 c. 基礎体温法 d. 内診 e. 免疫学的妊娠反応 f. 超音波による方法 g. 分娩予定日の算出と修正					
		B. 妊娠経過の診断	a. 全身所見 b. 体格評価<BMI>、体重増加 c. 血圧測定 d. 血液検査 e. 尿検査 f. マイナートラブル				
			C. 胎児の発育・健康状態の診断	a. 子宮底長・腹囲 b. 胎位・胎向・胎勢 c. 胎児心拍動、胎児心拍数陣痛モニタリング d. 胎盤付着部位 e. 胎児胎盤機能検査 f. 羊水量			
				D. 妊婦の健康生活の診断	a. 日常生活行動の変化		
				E. 妊婦の心理社会的側面の診断	a. 妊娠の受容 b. 情緒の変化 c. 不安や問題への対処行動 d. ボディイメージ<身体像>の変化 e. 母性意識・母親役割意識 f. 家族の妊娠への適応と家族関係、支援状況 g. 父性意識、父親役割意識 h. ソーシャルサポート		
					3. 正常経過にある妊婦への援助	A. 日常生活適応へのケア	a. 妊娠期の栄養と食生活 b. 口腔衛生 c. 排泄、排泄習慣 d. 睡眠、休息、生活リズム e. 活動、運動 f. 身体の清潔 g. マイナートラブルへの対処 h. 衣服 i. 嗜好品 j. 性生活

大項目	中項目	小項目
	B. 親になる準備へのケア	a. 出産・育児準備
		b. 親役割の獲得への支援
		c. 新しい家族関係形成への支援
		d. 母乳育児に向けた準備
	C. 心理社会的ケア	a. 定期健康診査受診への支援
		b. 社会資源の活用
c. 就労に伴う支援		
4. 正常な妊娠経過からの逸脱およびハイリスク状態にある妊婦のアセスメントと援助	A. 身体的ハイリスク因子のアセスメント	a. 全身状態
		b. 妊娠・分娩歴、産科病歴
		c. 既往歴、家族歴
		d. 合併症
	B. 心理社会的ハイリスク因子のアセスメント	a. 妊娠の受容
		b. 過去の出産体験
		c. 家族関係
		d. 婚姻
		e. 経済的状况
	C. 異常妊娠・ハイリスク妊婦へのケア	a. 妊娠悪阻
		b. 切迫流産・早産
		c. 前期破水
		d. 妊娠高血圧症候群
		e. 妊娠貧血
		f. 妊娠糖尿病
		g. 前置胎盤
		h. 常位胎盤早期剥離
		i. 多胎妊娠
		j. 骨盤位
		k. 子宮内胎児死亡
		l. 若年妊娠
		m. 高齢妊娠
		n. 帝王切開既往妊婦
	D. 心理的問題をもつ妊婦へのケア	a. 妊娠の受け入れ困難
		b. 出産に対する不安
		c. 胎児との愛着形成困難
		d. 被虐待経験者
E. 助産師による妊婦のリスク診断	a. 助産所での分娩対象者（院内助産）	
	b. 産科医と相談の上、協働管理すべき対象者	
	c. 産婦人科医が管理すべき対象者	
5. 分娩期の診断	A. 分娩開始の予知の診断	a. 子宮頸管成熟度
		b. 子宮収縮
		c. 自覚症状
	B. 分娩開始の診断	a. 陣痛発来
		b. 子宮頸管の変化

大項目	中項目	小項目
	C. 破水の診断	a. 自覚症状
		b. 検査法
		c. 腔鏡診、内診所見
		d. 羊水の性状
	D. 分娩経過の診断	a. 陣痛・腹圧
		b. 骨盤の大きさ
		c. 子宮頸管
		d. 腔・会陰の伸展性
		e. 胎児の大きさ
		f. 胎位、胎向、胎勢、回旋
		g. 胎児の下降度
		h. Freidman<フリードマン>の頸管開大曲線
		i. 児娩出時刻
		j. 分娩所要時間（第1期・第2期・第3期）
		k. 胎盤剥離徴候
		l. 児娩出後の出血
		m. 胎盤・卵膜の娩出状況
		n. 軟産道の裂傷
		o. 出血量
	E. 胎児の健康状態の診断	a. 胎児推定体重の算出
		b. 胎児の発育評価
		c. 胎児心拍陣痛図
		d. 羊水の量・性状
		e. 血液ガス分析
	F. 産婦の健康生活の診断	a. 全身状態
		b. 健康生活の変化
	G. 産婦の心理社会的側面の診断	a. 産婦の情動
		b. 産痛への対処行動
		c. 家族の支援
		d. 家族の分娩への適応
	H. 出生直後の新生児の診断	a. Apgar<アプガー>スコア
		b. Silverman<シルバーマン>スコア
c. 外表奇形、特異な顔貌		
6. 正常経過にある産婦への援助	A. 援助の基本	a. 産婦の意思・主体性の尊重
		b. 産婦と家族中心のケア
		c. 心身の苦痛の緩和
		d. 正常逸脱の予防
	B. 分娩第1期のケア	a. 基本的欲求の充足
		b. 出産環境への配慮
		c. 家族とのコミュニケーション
		d. 産痛緩和
		e. 分娩進行の促進
		f. 家族への支援

大項目	中項目	小項目	
	C. 分娩第2期・分娩第3期のケア	a. 基本的欲求の充足	
		b. 呼吸法・リラクゼーションの誘導	
		c. 必要時の努責誘導	
		d. 出血量に応じた体位の調整	
	D. 分娩後2時間までのケア	a. 出血・子宮復古状態の観察	
		b. 基本的欲求の充足	
		c. 母児の早期接触	
		d. 母児と父・家族との対面	
		e. 産婦・家族の分娩体験の想起	
	7. 正常分娩の介助	A. 分娩介助の原理	a. 分娩時の姿勢と分娩進行
b. 分娩体位			
c. 呼吸法			
d. 努責の功罪と必要性			
B. 分娩介助時の技術		a. 導尿	
		b. 肛門圧迫・保護	
		c. 会陰保護	
		d. 児頭娩出	
		e. 肩甲娩出	
		f. 軀幹娩出	
		g. 臍帯切断、臍処置	
		h. 胎盤娩出	
C. 胎盤の検査		a. 観察項目、観察方法	
		b. 胎内環境の評価	
D. 出生後の新生児のケア		a. 呼吸の確立	
		b. 全身の観察	
		c. 身体計測	
		d. 成熟度の判定	
		e. 保温	
		f. 点眼	
8. 正常な分娩経過からの逸脱およびハイリスク状態にある産婦のアセスメントと援助		A. 身体的ハイリスク因子のアセスメント	a. 全身状態
			b. 妊娠・分娩歴、産科病歴
			c. 娩出力
			d. 産道
			e. 胎児と胎児付属物
			f. 胎児と骨盤の関係
		B. 心理的ハイリスク因子のアセスメント	a. 妊娠の受容
			b. 過去の出産体験
	c. 出産に関する知識不足		
	C. 援助の基本	a. 正常経過からの逸脱のリスクの評価	
		b. 正常経過からの逸脱の予防	
		c. 緊急事態の予測と予期的対応	
		d. 正常経過からの逸脱の早期発見	

大項目	中項目	小項目
	D. 正常分娩急変時の対応 (分娩中・産褥期発症)	a. 緊急に搬送すべき母体の症状
		b. 搬送までの対応
	E. 分娩中・産褥期に搬送すべき症状を呈する母体の疾患	a. 分娩後出血
		b. 異常出血
		c. 子宮・胎盤の異常
		d. 血栓症の疑い
		e. 胎児心拍異常
		f. 羊水混濁
		g. 分娩遷延
		h. 分娩中の母体発熱
		i. 産褥早期の発熱の原因となる疾患
9. 異常分娩	A. 異常分娩時の産婦へのケア	a. 娩出力の異常(分娩誘発・促進時の管理)
		b. 産道の異常
		c. 胎位・胎勢の異常
		d. 進入・回旋の異常
		e. 前期破水
		f. 遷延分娩
		g. 肩甲難産
		h. 胎児機能不全
		i. 胎児付属物の異常
		j. 弛緩出血
		k. 子宮破裂・子宮内反・頸管裂傷、膣・会陰裂傷
		l. 多胎分娩
		m. 奇形児分娩
		n. 子癇
		o. 羊水塞栓
		p. 播種性血管内血液凝固<DIC>、産科DIC
		B. 産科手術および産科的医療処置
	b. 産科手術の準備	
	c. 術後の管理	
	d. 会陰切開術	
	e. 会陰縫合術	
	f. 産科麻酔(硬膜外麻酔)	
	g. 腹式帝王切開術	
	h. 分娩誘発・促進法	
	i. Kristeller<クリステレル>胎児圧出法	
	j. 骨盤位牽出術	
	k. 吸引遂娩術	
	l. 鉗子遂娩術	
m. 胎盤圧出法、用手剥離		
n. 子宮摘出術		

大項目	中項目	小項目
10. 産褥期の診断	A. 産褥経過の診断	a. 全身状態
		b. 子宮と付属器の復古状態
		c. 膣、外陰、肛門
		d. 血液検査
		e. 尿検査
		f. 不快症状
	B. 褥婦の健康生活の診断	a. 栄養と食事
		b. 睡眠・休息
		c. 活動・運動
		d. 排泄
		e. 清潔行動
		f. 日常生活への適応
		g. 家族計画
	C. 心理社会的側面の診断	a. 出産体験の受容
		b. 親役割の獲得
		c. 家族の役割獲得と家族関係
		d. 居住地域の育児環境
		e. 褥婦の心理に影響及ぼす要因
	D. 育児能力の診断	a. 児の受容
		b. 親と子の愛着形成
c. 育児技術の習得		
d. 育児不安と対処行動		
e. 母親役割・父親役割の取得		
E. 母乳育児に関する診断	a. 乳房	
	b. 乳汁分泌	
	c. 児の吸啜	
	d. 授乳技術とセルフケア能力	
11. 正常経過にある褥婦と家族への援助	A. 日常生活への適応および退行性変化促進へのケア	a. 産褥期の栄養と食生活
		b. 排泄状況、排泄行動
		c. 睡眠・休息
		d. 活動・運動
		e. 清潔行動
		f. 日常生活の行動拡大
		g. 子宮底輪状マッサージ法
		h. 産褥体操
		i. 性生活指導
		j. 職場復帰への支援
	B. 母乳育児へのケア	a. 母乳栄養に関する母親の意識
		b. 母乳分泌促進法・抑制法
		c. 乳房トラブルの予防と対処法
		d. 乳房自己管理法
e. 哺乳量の評価		
f. 母乳育児と社会資源		

大項目	中項目	小項目
	C. 心理社会的側面へのケア	a. 生活の調整
		b. 家族関係の調整
		c. 出生にかかわる届出の指導
		d. 社会資源の活用
	D. 育児行動取得へのケア	a. 母親・父親役割獲得への援助
		b. 育児技術の指導
		c. 育児環境の調整
12. 正常な産褥経過からの逸脱およびハイリスク状態にある褥婦のアセスメントと援助	A. 身体的ハイリスク因子のアセスメント	a. 全身状態、バイタルサイン
		b. 妊娠・分娩歴、産科病歴
		c. 分娩経過、分娩様式
		d. 生殖器の状態
		e. 母体の合併症
		f. 日常生活の状況
	B. 心理社会的ハイリスク因子のアセスメント	a. 年齢
		b. 経済状態
		c. 婚姻形態
		d. 家族関係
		e. 文化的背景
	C. 不快症状の緩和へのケア	a. 後陣痛の緩和
		b. 会陰部疼痛の緩和
		c. 脱肛・痔核への対処法
		d. 排尿障害への対処法
	D. 産褥期の異常と合併症の予防	a. 産褥早期出血
		b. 産褥晚期出血
		c. 子宮復古不全
		d. 産褥熱
		e. 恥骨結合離開
		f. 静脈瘤および血栓性静脈炎
		g. 深部静脈血栓症・肺塞栓症
		h. 感染症
		i. 妊娠高血圧症候群後遺症
		j. 乳頭損傷
		k. 乳腺炎
		E. 心理的リスクをもつ褥婦のケア
	b. 産後うつ病	
	c. その他の産褥精神病	
	F. 特殊な状況にある褥婦へのケア	a. 帝王切開術後の褥婦
		b. 多胎出産
		c. 文化的背景の異なる褥婦
		d. 不妊治療後の出産
		e. 低出生体重児の出産
		f. 流産、早産、死産
		g. 障害をもつ児
		h. 予後不良児

大項目	中項目	小項目
13. 合併症を持つ妊産褥婦のアセスメントとケア	A. 周産期の合併症	a. 心疾患
		b. 腎疾患
		c. 甲状腺疾患
		d. 糖尿病
		e. 子宮奇形、子宮筋腫
		f. 感染症
		g. 精神疾患
		h. アレルギー性疾患
		14. 新生児の診断
b. バイタルサインの測定		
c. 黄疸の観察法		
d. 聴覚検査		
e. 先天性代謝異常検査		
B. 出生後24時間以内の経過診断	a. 胎内環境と新生児への影響の評価	
	b. 成熟度の判定<Dubowitz法>	
	c. 胎外環境への適応状態	
	d. 睡眠・覚醒レベル	
C. 24時間以降の早期新生児期の経過診断	a. 胎外環境への適応状態	
	b. 分娩侵襲からの回復状況	
	c. 栄養摂取	
	d. 消化と排泄	
	e. 生理的体重減少	
	f. 黄疸	
	g. 原始反射	
	h. 臍帯出血、臍帯の脱落	
	15. 正常新生児への援助	
b. 保温		
c. 母子接触		
d. 哺乳と排泄		
e. 感染予防		
f. 安全確保		
g. 与薬 (k2シロップ)		
B. 24時間以降早期新生児期のケア		a. 新生児期の栄養と授乳
		b. 保温と環境温度の調整
		c. 保清
		d. 感染予防
C. 母子・親子関係を促進するケア		a. 母児同室中のケア
		b. 母子愛着形成促進のためのケア

大項目	中項目	小項目
16. 正常な新生児経過からの逸脱およびハイリスク状態にある新生児のアセスメントとケア	A. ハイリスク因子のアセスメント	a. 妊娠・分娩経過
		b. 母体の合併症と薬剤
		c. 胎児の発育状態
		d. 出生直後の状態
		e. 呼吸障害
		f. 循環状態
		g. 嘔吐、腹部膨満
		h. 緊張、けいれん
		i. 黄疸
		j. 感染
		k. 外表奇形
		l. 臍出血
		m. 分娩外傷
		n. 出血傾向
	B. 援助の基本	a. 正常逸脱のリスクの予測
		b. 正常逸脱の予防
		c. 正常逸脱の早期発見
		d. 出生直後の援助（新生児蘇生法）
		e. 母子関係確立への援助
		f. 授乳への援助
		g. 退院後の生活に向けた調整と援助
	C. 低出生体重児のケア	a. 体温管理と体温調節のケア
		b. 呼吸管理
		c. 皮膚のケア
		d. 水分・電解質・血糖管理
		e. 栄養管理と授乳
		f. 感染予防
		g. 家族支援
	D. 治療を受ける新生児のケア	a. 呼吸障害のケア
		b. 光線療法に伴うケア
		c. 経管栄養法のケア
		d. 輸液管理とケア
		e. 手術を受ける児と家族のケア
		f. ディベロップメンタルケア
	E. 家族へのケア	a. 他機関、他職種との連携
		b. 社会資源の活用
		c. 親への心理的援助
		d. 児への愛着形成
	F. 新生児の急変時の対応	a. 緊急に搬送すべき新生児の症状
		b. 搬送までの対応
	G. 新生児期に搬送すべき症状を呈する新生児の疾患	a. 新生児仮死
		b. 呼吸障害
		c. 無呼吸発作
		d. チアノーゼ
		e. 痙攣
		f. 黄疸
		g. 嘔吐
		h. 腹部膨満
		i. 発熱
		j. 低体温
		k. 低血糖
		l. 出血
		m. 外表大奇形
n. 浮腫		
o. 下痢		
p. 心雑音の原因となる疾患		

大項目	中項目	小項目
17. 乳幼児の健康診査	A. 乳幼児の健康診査に必要な技術	a. 一般理学的診察
		b. 発達診断学的診察
		c. 視覚検査
	B. 新生児期（1か月）、乳児期、幼児期の発育・発達評価・保健指導の要点	a. 発育
		b. 精神
		c. 運動
		d. 栄養
		e. 生活習慣・行動
		f. 予防接種
		g. 健康診査で発見されやすい異常
h. 育児相談		
18. 正常経過にある乳幼児への援助	A. 発達を促進するケア	a. 栄養
		b. 遊び
		c. 生活習慣・生活リズムの確立
		d. 情緒の発達
	B. 社会性を促進するケア	a. 家庭環境との関連
		b. 生活のマナー、エチケット
		c. 自立を促す支援
		d. 乳幼児期の人間関係形成
	C. 起こりやすい事故の予防と対策	a. 窒息
		b. 溺水
		c. 誤飲
		d. 交通事故
		e. 転落
	D. 起こりやすい疾病の予防的ケア	a. 予防接種
		b. 歯・口腔の衛生
	E. 家族へのケア	a. 育児不安
		b. 母子相互関係の成立
c. 親子・家族関係の促進		
19. ハイリスク乳幼児への援助	A. 援助の基本	a. 乳幼児の成長・発達促進
		b. 家族の子どもの受容
		c. 家族への精神的援助
		d. 社会資源の活用
		e. 他機関・他職種との連携
	B. 精神・運動発達遅滞がある児へのケア	a. 発達の促進
		b. 治療への援助
	C. 先天奇形・先天異常がある児へのケア	a. 発達の促進
		b. 外科的治療への援助
	D. 低体重で出生した乳幼児へのケア	a. 発達・発育評価

大項目	中項目	小項目
	E. 特殊な状況にある乳幼児へのケア	a. ひとり親家庭
		b. 在日外国人家庭
		c. 在宅医療
		d. 虐待を受けている・受けると推測される乳幼児

【地域母子保健】

目標. 地域の母子保健の推進、社会資源の活用及び関係機関との連携について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 地域母子保健の基本	A. 母子保健の概念と意義	a. 日本の母子保健の変遷
		b. 地域母子保健活動の意義
		c. 地域の概念
		d. 地域の特性と母子保健
	B. 地域母子保健活動	a. 妊婦訪問
		b. 新生児訪問
		c. 褥婦訪問
		d. 地域子育て支援活動
		e. 地域における相談活動
	C. 地域における女性のライフサイクルへの支援	a. 幼児期・学童期
		b. 思春期
		c. 成熟期
		d. 更年期
2. 母子保健の現状と動向	A. 統計資料の分析	a. 出生数、出生率
		b. 合計特殊出生率
		c. 妊産婦死亡
		d. 自然流産、人工流産、死産
		e. 周産期死亡
		f. 新生児死亡
		g. 乳児死亡、幼児死亡
		h. 人工妊娠中絶
	B. 母子保健に関わる諸問題の把握	a. 人口構造の変化
		b. 人口の移動と過密・過疎
		c. 疾病構造の変化
		d. 育児環境の変化
		e. 医療環境の変化
		f. 国際化と国際協力
3. 母子保健行政	A. 保健行政の仕組みと母子保健	a. 母子保健行政の進展
		b. 母子保健関係法規
		c. 国・都道府県・市町村の役割
		d. 母子保健行政の財源

大項目	中項目	小項目	
	B. 母子保健計画・事業への参画（実態把握から評価まで）	a. 関係機関・関係職種との連携	
		b. 各職種の役割と連絡調整	
		c. 地域母子保健ニーズの把握	
		d. 地域母子保健ニーズの施策化	
		e. 母子保健事業計画の策定	
		f. 地域での合意形成	
		g. 事業計画の評価・修正、変更案の作成	
		h. 事業への参画の実際	
	C. 主な母子保健制度と関連法規	a. 健康診査	
		b. 保健指導	
		c. 予防接種	
		d. 歯科検診	
		e. 特定不妊治療費助成事業	
		f. 障害者総合支援法<旧障害者自立支援法>	
		g. 母子及び寡婦福祉法	
		h. 妊娠高血圧症候群等療養援護	
		i. 児童虐待の防止等に関する法律	
		j. 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律	
		k. 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律	
		l. 売春防止法	
	D. 主な母子保健施策	a. 健やか親子21	
		b. 次世代育成支援対策	
		c. 少子化対策	
		d. 妊産婦のための食生活指針	
		e. 授乳・離乳の支援	
		f. ヒトT細胞白血病ウイルス-1型<HTLV-1>の母子感染予防	
		g. 子どもの事故	
	4. 地域母子保健活動の実際	A. 母子保健活動の展開の特徴	a. 助産所
			b. 診療所・病院
			c. 市町村、母子保健センター
d. 保健所			
B. 母子保健活動の連携		a. 行政との連携	
		b. 民間組織との連携	
C. 地域組織活動		a. 組織活動の活用と活性化	
		b. 自助グループ<セルフヘルプグループ>、育成支援	

【助産管理】

目標：助産業務の管理、助産所の運営及び助産師業務の評価・調整について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 助産業務管理の基本	A. 助産業務の概念	a. 周産期医療システム
		b. 助産業務の定義
		c. 法的定義
		d. 社会的定義
		e. 助産業務の目的・機能
		f. 助産師の業務範囲
		g. 周産期医療におけるチーム医療、職種間の連携・協働
	B. 助産管理の概念	a. 管理の定義
		b. 助産管理の定義
		c. 助産業務管理の特性
		d. 組織における助産師の役割と助産管理体制
		e. 快適な出産環境
	C. 助産業務管理の過程	a. 管理目標の策定
		b. 業務の分析
		c. 業務計画の策定
		d. 業務の評価
	D. 助産と医療経済	a. 医療保険制度
		b. 診療報酬
		c. 分娩費用

大項目	中項目	小項目	
2. 助産師及び助産業務に関連する法規と責任	A. 関係法規	a. 医療法	
		b. 保健師助産師看護師法	
		c. 医師法	
		d. 母子保健法（養育医療）	
		e. 母体保護法	
		f. 児童福祉法	
		g. 地域保健法	
		h. 戸籍法	
		i. 刑法（秘密漏示の禁止、墮胎の禁止、虚偽私文書作成の禁止）	
		j. 民法	
		k. 労働関係法律・就業規則	
		l. 個人情報保護法	
		m. 生活保護法	
		n. 薬事法（処方せん医薬品等取り扱い）	
		o. 障害者総合支援法＜旧障害者自立支援法＞（育成医療）	
		p. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律＜DV防止法＞	
		q. 性同一性障害の性別の取扱いの特例に関する法律	
		r. 児童虐待の防止等に関する法律	
		s. 少子化社会対策基本法	
		t. 次世代育成支援対策推進法	
		u. 災害救助法	
		v. 男女共同参画社会基本法	
		B. 助産師の法的義務・届出	a. 応召
	b. 出生証明書の交付		
	c. 死産証書および死胎検案書の交付		
	d. 助産録の記載		
	e. 届出		
f. 秘密の保持（守秘義務）			
3. 病院・診療所の管理・運営	A. 助産業務管理の方法	a. 人事・物品・経済・情報・時間の管理	
		b. 人材の育成	
		c. 看護体制と勤務体制	
		d. 文書・記録の管理と開示	
		e. 診療情報提供	
		f. 他部門・他機関との連携、協調	
		g. 地域との連携、ネットワーク	
		h. 業務の質の管理	
		B. 産科棟の管理	a. 看護体制
			b. 継続的な援助システム
	c. 母乳育児		
	d. 院内助産・院内助産所		
	e. オープンシステム		

大項目	中項目	小項目
	C. 外来の助産管理	a. 助産外来・助産師外来 b. 乳房ケア外来 c. 家族計画外来 d. 女性外来
4. 助産所の管理・運営	A. 助産所の関係法規	a. 助産所の定義
		b. 助産所の管理者
		c. 助産所の管理者の義務
		d. 助産所の構造と設備
		e. 助産所の広告
	B. 助産所の管理・運営	a. 助産所管理の基本
		b. 嘱託医との連携
		c. 救急時の搬送と搬送基準
		d. 環境・設備・備品
		e. 地域医療、行政との連携・協働
		f. 地域連携とオープンシステム
	C. 助産所経営	a. 経営診断
		b. 母子における社会保険制度
c. 医療貸付制度		
D. 出張助産	a. 自宅分娩における助産師の役割	
	b. 自宅分娩の必要物品	
	c. 自宅分娩時の留意事項	
5. 助産業務と医療事故（安全）	A. 周産期における医療事故	a. 産科領域における医療事故
		b. 医療事故の原因
		c. 救急体制
		d. 法的責務
		e. 医療事故防止
		f. 医事紛争・訴訟防止
	B. 助産業務における安全対策	a. リスクマネジメント
		b. 感染予防・管理
		c. 傷害等の対応と損害賠償保険
		d. 産科医療補償制度
	C. 災害対策・活動	a. 防災・防火訓練・防災設備
		b. 初期対応
		c. 災害時支援
		d. 被災妊産婦・母子・女性の特徴と援助
		e. 災害時における助産の役割と活動内容

助産師試験出題基準・索引

1

- 13 トリソミー ・3
- 18 トリソミー ・3

2

- 24 時間以降早期新生児期のケア ・23

A

- AED ・15
- AIDS ・4
- Apgar スコア ・18

B

- BMI ・16
- B型肝炎ウイルス ・9
- B群溶連菌 ・9

C

- Coombs 検査 ・12
- CPD ・10
- C型肝炎ウイルス ・9

D

- DIC ・10, 15, 20
- Doppler 法 ・15
- Down 症候群 ・3
- Dubowitz 法 ・23
- DV ・14
- DV 防止法 ・29

F

- FGR ・9
- Freidman の頸管開大曲線 ・18

H

- HIV ・9
- HPV ・4, 9
- HTLV-1 ・27

I

- ICM ・1
- IUD ・15

K

- k 2シロップ ・23
- Klinefelter 症候群 ・3
- Kristeller 胎児圧出法 ・20

L

- Leopold 触診法 ・15

N

- not doing well ・11
- NST ・13

R

- RDS ・12
- RS ウイルス感染症 ・12

S

- Seitz 法 ・15
- SIDS ・12
- Silverman スコア ・18
- SSSS ・12

- STI ・4

T

- TTN ・11
- Turner 症候群 ・3

W

- WHO ・1
- Woman-centered care ・13

X

- X連鎖劣性遺伝 ・3

あ

- 愛着形成 ・21, 24
- 愛着形成困難 ・17
- 悪性腫瘍合併妊娠 ・9
- 遊び ・25
- アプガースコア ・18
- アルコール ・4
- アレルギー性疾患 ・23
- アレルギー性疾患合併妊娠 ・9
- 安全確保 ・23

い

- 育児学級 ・14
- 育児環境 ・22, 26

育児技術 ・22
育児技術の習得 ・21
育児休業、介護休業等育児又は家族介護
を行う労働者の福祉に関する法律 ・
27
育児行動取得 ・22
育児性 ・2
育児相談 ・25
育児能力 ・21
育児不安 ・21, 25
育成医療 ・29
維持機構 ・5
意思決定 ・1
医事紛争 ・30
医師法 ・29
萎縮性膣炎 ・4
異常出血 ・15
異常妊娠 ・17
異常分娩 ・20
異所性妊娠 ・8
一過性多呼吸 ・11
一般理学的診察 ・25
遺伝子 ・2
遺伝子疾患 ・3
遺伝の法則 ・2
衣服 ・16
医療貸付制度 ・30
医療環境 ・26
医療事故 ・30
医療事故防止 ・30
医療チームメンバー ・16
医療法 ・29
医療保険制度 ・28
イレウス ・11
飲酒 ・2, 6
院内助産 ・17, 29
院内助産所 ・29
インフォームド・コンセント ・1

う

うっ乳 ・10
運動 ・16, 21, 25
運動器系 ・5

え

栄養 ・2, 6, 8, 21, 23, 25
栄養過剰摂取 ・6
栄養管理 ・24
栄養所要量 ・6
会陰 ・18
会陰切開術 ・20
会陰部疼痛の緩和 ・22
会陰縫合術 ・20
会陰保護 ・19
会陰裂傷縫合術 ・15
壊死性腸炎 ・12
エチケット ・25
援助技術 ・15
エンパワメント ・13

お

応召 ・29
黄疸 ・11, 23, 24
嘔吐 ・11, 24
オープンシステム ・29, 30
頤部触診 ・15
親性 ・2
親と子の絆 ・7
親役割の獲得 ・17, 21

か

外陰 ・3, 21
外陰部 ・6
外観 ・11
外性器 ・4
外性器の異常 ・11
回旋 ・18
疥癬 ・4
回旋の異常 ・9, 20
快適な出産環境 ・28
外表奇形 ・11, 18, 24
過活動性膀胱 ・4
過期妊娠 ・8
過強陣痛 ・9
核黄疸 ・12
覚醒剤 ・4
覚醒レベル ・23
学童期 ・26

家族関係 ・7, 17, 22
家族計画 ・14, 21
家族計画外来 ・30
家族支援 ・24
家族歴 ・17
学級活動 ・14
活動 ・16, 21
合併症 ・17
家庭環境 ・25
家庭訪問 ・13
カルシウム ・6
感覚器系 ・5, 6
感覚器疾患 ・4
環境汚染物質 ・2
環境温度 ・23
環境ホルモン ・2
関係機関 ・27
関係職種 ・27
看護体制 ・29
カンジダ ・9
カンジダ症 ・4, 12
鉗子分娩 ・6
鉗子遂娩術 ・20
間接クームス検査 ・12
感染 ・24
感染症 ・4, 11, 12, 22, 23
感染予防 ・23, 24
感染予防・管理 ・30
管理目標 ・28

き

既往歴 ・17
器官形成 ・5
気胸 ・11
奇形 ・9
奇形児分娩 ・20
基礎体温法 ・15, 16
喫煙 ・2, 6
気道圧迫 ・7
基本的人権 ・1
基本的欲求の充足 ・18, 19
虐待 ・26
吸引遂娩術 ・20
吸引分娩 ・6
救急体制 ・30
吸収 ・11
休息 ・16, 21
救命処置 ・3

教育的なかかわり ・13
狭骨盤 ・9
行政 ・27
虚偽私文書作成の禁止 ・29
虚血性心疾患 ・4
巨大児 ・9
緊急時 ・15
緊急避妊薬 ・15
緊張 ・24
勤務体制 ・29

く

偶発疾患合併妊娠 ・9
軀幹娩出 ・19
クラインフェルター症候群 ・3
クラミジア ・9
クラミジア感染症 ・4
クリステレル胎児圧出法 ・20

け

経営診断 ・30
経管栄養法 ・24
頸管無力症 ・8
頸管裂傷 ・10, 20
経口避妊薬 ・3, 15
経済状態 ・22
経済的状況 ・17
計測診 ・15
刑法 ・29
けいれん ・11, 24
外科的治療 ・25
下血 ・11
血圧測定 ・16
血液 ・7, 8, 11
血液・造血器系 ・5
血液ガス分析 ・18
血液型 ・12
血液型不適合妊娠 ・9
血液検査 ・12, 16, 21
月経 ・3
月経異常 ・4
血栓・塞栓症 ・10
血栓性静脈炎 ・22
血糖 ・12
血糖管理 ・24

血糖値 ・7
健康課題 ・2
健康教育 ・13
健康診査 ・23, 27
健康診査で発見されやすい異常 ・25
肩甲難産 ・10, 20
肩甲娩出 ・19
原始反射 ・23
減数分裂 ・2
検体 ・13
検体検査 ・13
顕微授精 ・5
権利の尊重 ・1

こ

誤飲 ・25
合意形成 ・27
後遺症 ・12
口腔衛生 ・16
合計特殊出生率 ・26
高脂血症 ・4
甲状腺疾患 ・23
甲状腺疾患合併妊娠 ・9
光線療法 ・24
交通事故 ・25
後天性免疫不全症候群 ・4
行動評価 ・8
更年期 ・2, 3, 4, 14, 26
更年期うつ ・4
更年期障害 ・4
高ビリルビン血症 ・11
肛門 ・21
肛門圧迫・保護 ・19
高嶺妊娠 ・17
呼吸 ・6, 7, 11
呼吸管理 ・24
呼吸器系 ・5
呼吸器疾患合併妊娠 ・9
呼吸窮迫症候群 ・12
呼吸系 ・8
呼吸障害 ・11, 24
呼吸の確立 ・19
呼吸法 ・19
国際化 ・26
国際協力 ・26
国際助産師連盟 ・1
個人情報保護法 ・29
後陣痛の緩和 ・22

戸籍法 ・29
骨粗鬆症 ・4
骨盤 ・18
骨盤位 ・17
骨盤位牽出術 ・20
骨盤位分娩 ・6
骨盤臓器脱 ・4
骨盤底 ・3
子どもの事故 ・27
個別相談 ・13
雇用の分野における男女の均等な機会
及び待遇の確保等に関する法律 ・27
婚姻 ・17
婚姻形態 ・22
婚前学級 ・14
コンドーム ・15

さ

災害 ・30
災害救助法 ・29
災害時支援 ・30
細気管支炎 ・12
催奇形性 ・3
細菌性膣炎 ・4
臍出血 ・24
臍処置 ・19
臍帯 ・5
臍帯下垂・脱出 ・10
臍帯巻絡 ・10
在胎週数と出生体重による分類 ・11
在胎週数による分類 ・11
臍帯出血 ・23
臍帯切断 ・19
臍帯の脱落 ・23
在宅医療 ・26
ザイツ法 ・15
サイトメガロウイルス ・9
サイトメガロウイルス感染症 ・3
在日外国人家庭 ・26
鎖骨骨折 ・11
サリドマイド ・4
産科 DIC ・10, 15, 20
産科医療補償制度 ・30
産科手術 ・20
産科ショック ・10
産科的医療処置 ・20
産科棟 ・29
産科病歴 ・17, 22

- 産科麻酔・20
産後うつ病・10, 22
産後の回復過程・15
産褥・3
産褥期・21, 22
産褥期感染症・10
産褥期精神障害・10
産褥経過・21
産褥血栓性静脈炎・10
産褥後遺症・11
産褥精神障害・10
産褥早期・7
産褥早期出血・22
産褥体操・21
産褥熱・10, 22
産褥の心疾患・11
産褥晩期出血・22
産痛緩和・18
産痛への対処行動・18
産道・6
産道の異常・9, 20
産婦人科医・17
産婦の情動・18
産婦の心理・7
産瘤・7
-
- し
- ジェンダー・2
ジェンダーアイデンティティ・2, 14
痔核・22
視覚検査・25
自覚症状・17, 18
歯科健診・27
子癩・20
弛緩出血・10, 20
子癩発作・10
子宮・6
子宮がん検診・14
子宮奇形・9, 23
子宮筋腫・23
子宮筋腫合併妊娠・9
子宮頸管・17, 18
子宮頸癌・14
子宮頸管炎・4
子宮頸管成熟度・17
子宮頸部・3
子宮収縮・17
子宮収縮薬・3
子宮収縮抑制薬・3
子宮底長・腹囲・16
子宮底輪状マッサージ法・21
子宮摘出術・20
子宮と付属器の復古状態・21
子宮内胎児死亡・9, 17
子宮内反・20
子宮内反症・10
子宮内避妊具・15
子宮内膜・3
子宮内膜症・4
子宮の障害・5
子宮破裂・10, 20
子宮付属器・6
子宮復古不全・10, 22
事業計画・27
止血の機序・7
止血法・15
嗜好・2
嗜好品・6, 16
自己コントロール能力・14
死産・14, 22, 26
死産証書・29
脂質異常症・4
思春期・2, 3, 4, 14, 26
自助グループ・27
視診・15
次世代育成支援対策・27
次世代育成支援対策推進法・29
死胎検案書・29
自宅分娩・30
市町村・26
市町村保健センター・27
疾病構造・26
児童虐待の防止等に関する法律・27, 29
児頭骨盤不均衡・10
自動体外式除細動器・15
児頭の応形機能・7
児童福祉法・29
児頭娩出・19
児の吸啜・21
児の受容・21
児娩出後の出血・18
児娩出時刻・18
死亡率・12
社会資源の活用・17, 22
社会的定義・28
社会的特徴・8
社会保険制度・30
若年妊娠・17
縦隔気腫・11
就業規則・29
周産期・23
周産期医療システム・28
周産期医療におけるチーム医療・28
周産期死亡・26
集団指導・13, 14
絨毛性疾患・9
絨毛膜羊膜炎・9, 10
就労・17
就労女性・14
受精・5
受精調節・14
受精調節法・15
出血・子宮復古状態の観察・19
出血傾向・24
出血性ショック・10, 15
出血量・18
出血量の異常・10
術後の管理・20
出産・育児準備・17
出産環境・18
出産体験・17
出産体験の受容・21
出産に対する不安・17
出生直後の援助・24
出生後24時間以内のケア・23
出生後の新生児のケア・19
出生証明書・29
出生数・26
出生前診断・1
出生体重による分類・11
出生にかかわる届出・22
出生率・26
出張助産・30
授乳・23, 24, 27
授乳期・3
授乳技術・21
守秘義務・29
循環・7, 8, 11
循環器系・5, 6
循環状態・24
常位胎盤早期剥離・9, 10, 17
消化・6, 7, 11, 23
消化・吸収・8
障害者自立支援法・27, 29
障害者総合支援法・27, 29
障害をもつ児・22
消化器系・5

少子化社会対策基本法・29
少子化対策・27
常染色体異常・3
常染色体優性遺伝・3
常染色体劣性遺伝・3
情緒の発達・25
情緒の変化・16
小児期・4
静脈瘤・22
初期対応・30
初期胚の発生分化・2
食・8
食事・21
触診・15
食生活指針・2, 27
食生活習慣・2
嘱託医・30
職場復帰への支援・21
褥婦・21
褥婦訪問・26
助言的なかかわり・13
助産・1
助産外来・30
助産管理・28
助産業務・28
助産業務管理・28
助産師・1
助産師外来・30
助産師の法的義務・届出・29
助産所・17, 27, 30
助産録・29
女性外来・30
女性生殖器・3
女性を中心にしたケア・13
自立を促す支援・25
視力・8
シルバーマンスコア・18
腎機能・11
神経系・5, 6, 8
人口構造・26
人工授精・5
人工妊娠中絶・14, 26
人材の育成・29
心雑音・11
診察技術・15
心疾患・23
腎疾患・23
心疾患合併妊娠・9
腎疾患合併妊娠・9
新生児・23

新生児仮死・11
新生児眼疾患・11
新生児期・25
新生児死亡・26
新生児蘇生法・24
新生児低血糖症・11
新生児の疾患・11
新生児の蘇生・15
新生児搬送・16
新生児皮膚疾患・11
新生児訪問・26
新生児メレナ・11
靱帯・3
身体計測・19, 23
身体像・16
身体的特徴・8
身体的ハイリスク因子・17, 19, 22
身体的発育・8
身体の清潔・16
人体の発生・2
陣痛・18
陣痛の判読・13
陣痛のメカニズム・7
陣痛発来・7, 17
進入の異常・9, 20
深部静脈血栓症・10, 22
心理社会的課題・2
心理社会的ケア・17
心理社会的特徴・6, 7
心理社会的ハイリスク・22
心理社会的ハイリスク因子・17
診療所・27
診療情報提供・29
診療報酬・28

す

水痘・12
水痘ウイルス・9
水分・24
水分代謝・11
髄膜炎・12
睡眠・8, 16, 21
睡眠レベル・23
頭血腫・7, 11
健やか親子21・27
スピロヘータ感染症・4

せ

性・1, 2, 14
生活行動援助技術・15
生活習慣・行動・25
生活習慣・生活リズムの確立・25
生活のマナー・25
生活保護法・29
生活リズム・16
性感染症・4
精管通過障害・5
性器奇形・4
性器の異常・10
性器の復古・7
性器ヘルペス・4
性教育・14
清潔行動・21
性交障害・4, 5
精子形成障害・5
性周期・2, 3
成熟期・2, 3, 4, 26
成熟徴候・8
成熟度の判定・19, 23
正常逸脱・18, 24
正常妊婦の膈内環境・6
正常分娩・6, 19
生殖・1, 14
生殖器・4
生殖器系・5
生殖機能・2
生殖器の状態・22
生殖器の変化・6
生殖補助医療・5
精神・25
精神・運動発達遅滞・25
精神・心身医学的疾患・4
成人T細胞白血病ウイルス・9
精神疾患・23
精神疾患合併妊娠・9
精神発達・8
成人病胎児期発症説・2
性ステロイドホルモン薬・3
性生活・16
性生活指導・21
性染色体異常・3
成長・発達・12
性同一性障害の性別の取扱いの特例に
関する法律・29
生物学的性差・2

性分化異常 ・4
性暴力 ・14
生命倫理 ・1
性役割 ・2
生理的体重減少 ・23
生理的特徴 ・8
世界保健機関 ・1
セクシュアリティ ・2
セックスアイデンティティ ・14
摂食障害 ・4
切迫流産 ・8
切迫流産・早産 ・17
ゼリー ・15
セルフケア ・13
セルフケア能力 ・21
セルフヘルプグループ ・27
遷延分娩 ・10, 20
前期破水 ・9, 10, 17, 20
尖圭コンジローマ ・4
染色体 ・2
全身状態 ・18
全身所見 ・16
全身の復古 ・7
前置胎盤 ・8, 10, 17
先天異常 ・3, 25
先天奇形 ・25
先天性代謝異常 ・4
先天性代謝異常検査 ・23

そ

双合診 ・15
早産 ・8, 22
早産児 ・11
造精機能 ・5
相談的なかかわり ・13
早発思春期 ・4
ソーシャルサポート ・16
組織活動 ・27
訴訟防止 ・30
蘇生法 ・15
損害賠償保険 ・30

た

ターナー症候群 ・3
第二次性徴 ・2

第3期出血多量 ・10
第4期出血多量 ・10
胎位 ・16, 18
胎位の異常 ・9, 20
体温 ・7, 8, 11
体温管理 ・24
体温調節 ・24
胎芽 ・5
胎外環境 ・23
体外受精 ・5
体格評価 ・16
大気汚染 ・2
胎向 ・16, 18
胎児 ・5, 6, 7, 9
胎児機能不全 ・9, 20
胎児機能不全徴候 ・7
胎児血酸塩基平衡 ・7
胎児心拍陣痛図 ・18
胎児心拍数陣痛モニター ・15
胎児心拍数陣痛モニタリング ・13, 16
胎児心拍動 ・16
胎児心拍の調節機序 ・7
胎児心拍の判読 ・13
胎児推定体重 ・18
胎児性異常妊娠 ・9
胎児胎盤機能検査 ・16
胎児一胎盤系循環 ・6
胎児の大きさ ・18
胎児の下降度 ・18
胎児の発育 ・6
胎児の発育評価 ・18
胎児発育不全 ・9
胎児付属物 ・6
胎児付属物の異常 ・10, 20
胎児付属物性異常妊娠 ・9
代謝 ・6, 8, 11
体重増加 ・16
対象理解 ・13
対処行動 ・21
胎勢 ・16, 18
胎内環境 ・19, 23
胎内感染症 ・3
胎盤 ・6, 7, 18, 19
胎盤圧出法 ・20
胎盤通過性 ・3, 6
胎盤剥離徴候 ・18
胎盤付着部位 ・16
胎盤娩出 ・19
胎盤ポリープ ・10
胎便関連性腸閉塞 ・12

胎便吸引症候群 ・11
ダウン症候群 ・3
多胎 ・9
多胎出産 ・22
多胎妊娠 ・9, 17
随胎の禁止 ・29
多胎分娩 ・20
脱肛 ・22
多様な性 ・2
多様な文化 ・1
単純ヘルペスウイルス ・3, 9
男女共同参画社会基本法 ・29
男性生殖器 ・3

ち

チアノーゼ ・11
地域 ・26
地域子育て支援活動 ・26
地域組織活動 ・27
地域との連携 ・29
地域保健法 ・29
地域母子保健活動 ・26
地域母子保健ニーズ ・27
地域連携 ・30
恥骨結合離開 ・22
父親役割 ・21
父親役割意識 ・16
父親役割獲得 ・22
父親役割の発達 ・7
膣 ・6, 18, 21
膣・会陰裂傷 ・10, 20
膣鏡診 ・18
膣周囲炎 ・4
膣錠 ・15
窒息 ・25
膣壁裂傷 ・10
着床 ・2, 5
着床異常 ・8
超音波 ・15, 16
超音波血流計測 ・13
超音波検査 ・13
超音波胎児計測 ・13
超音波断層法 ・15
聴覚検査 ・23
聴診 ・15
聴力 ・8

て

手足口病・12
帝王切開・22
帝王切開既往妊婦・17
帝王切開分娩・6
低カルシウム血症・12
定期健康診査・17
定期的な検診・15
低血糖・12
低出生体重児・11, 12, 22, 24
低体温・11, 12
ディベロップメンタルケア・24
溺水・25
鉄・6
電解質・24
点眼・19
電磁波・2
伝染性膿痂疹・12
転落・25
電話相談・13

と

統計資料・26
導尿・19
糖尿病・4, 11, 23
糖尿病合併妊娠・9
糖負荷試験・12
トキシックショック症候群・10
トキソプラズマ・9
トキソプラズマ感染症・3
特異な顔貌・18
特定不妊治療費助成事業・27
吐血・11
努責・19
努責誘導・19
突発性発疹・12
都道府県・26
届出・29
ドプラ法・15
ドメスティックバイオレンス・14
トリコモナス膣炎・4

な

内診・15, 16

内分泌・代謝系・5, 8
内分泌・6, 7, 8
仲間支援・13
仲間づくり・13
軟産道・3
軟産道開大の機序・7
軟産道強硬・9
軟産道損傷・10
軟産道の裂傷・18
なんとなく元気がない・11

に

日常生活行動・16
日常生活の行動拡大・21
日本看護協会・1
日本助産師会・1
乳がん検診・14
乳児期・8, 25
乳児死亡・26
乳汁移行・7
乳汁うっ滞・10
乳汁分泌・3, 21
乳汁分泌機序・7
乳汁分泌不全・10
乳腺炎・10, 22
乳頭・乳房・乳腺異常・10
乳頭亀裂・発赤・10
乳頭損傷・22
乳房・6, 21
乳房うっ積・10
乳房ケア外来・30
乳房自己管理法・21
乳房疾患・4
乳房トラブルの予防と対処法・21
乳幼児・12, 25
乳幼児期の人間関係形成・25
乳幼児下痢症・12
乳幼児突然死症候群・12
尿ケトン体・12
尿検査・12, 16, 21
尿失禁・4
尿蛋白・12
尿糖・12
尿道炎・4
尿路感染症・10
妊産婦死亡・26
妊娠・3, 5, 16
妊娠・分娩歴・17, 22

妊娠悪阻・8, 17
妊娠合併症・6
妊娠期・16
妊娠期の評価・13
妊娠経過・16
妊娠高血圧症候群・6, 8, 17
妊娠高血圧症候群後遺症・11, 22
妊娠高血圧症候群等療養援護・27
妊娠持続期間異常・8
妊娠疾患・8
妊娠徴候・16
妊娠糖尿病・8, 17
妊娠の受け入れ困難・17
妊娠の受容・16, 17, 19
妊娠貧血・17
妊婦・16
妊婦の心理・6
妊婦訪問・26
妊卵・5

ね

ネットワーク・29
粘膜・6

の

脳室周囲白質軟化症・12
脳室内出血・12
脳性麻痺・11
ノロウイルス・12

は

歯・口腔の衛生・25
パートナー・6, 7, 15
胚・5
バイオフィジカルプロファイルスコア
・13
配偶子・5
配偶者からの暴力の防止及び被害者の
保護に関する法律・29
敗血症・12
敗血症性ショック・10
売春防止法・27
排泄・6, 7, 8, 16, 21, 23

排泄行動・21
排泄習慣・16
排泄状況・21
肺塞栓症・10, 22
バイタルサインの測定・23
胚凍結・5
梅毒・3
梅毒トレポネーマ・9
排尿障害・4, 22
排卵・5
排卵障害・5
排卵誘発剤・3
ハイリスク因子・24
ハイリスク妊婦・17
播種性血管内血液凝固・10, 15, 20
破水・7, 18
発育・25
発育・発達評価・25
発育障害・12
発達・発達評価・25
発達課題・2
発達診断学的診察・25
発達段階・2
発熱・11
母親学級・14
母親役割・21
母親役割意識・16
母親役割獲得・6, 22
母親役割の発達・7
胎勢の異常・20
晩期産褥出血・10
搬送時の対応・16
搬送までの対応・20, 24

ひ

ピアサポート・13
被虐待経験者・17
被災妊産婦・30
微弱陣痛・9
非出血性ショック・15
ビタミン・6
ビタミンA過剰摂取・4
ヒトT細胞白血病ウイルス-1型・27
ヒトパピローマウイルス・4, 9
ヒトパルボウイルス B19・3, 9
ヒト免疫不全ウイルス・9
ひとり親家庭・26
泌尿器・5

非妊時の体格・6
避妊法・15
避妊法の選択肢・15
皮膚・6, 8
皮膚のケア・24
秘密の保持・29
秘密漏示の禁止・29
百日咳・12
病院・27
ビリルビン代謝・11

ふ

不安や問題への対処行動・16
風疹・3
不快症状・21, 22
不規則抗体・12
腹圧・18
腹式帝王切開術・20
腹部膨満・11, 24
父性・2
父性意識・16
復古の機序・7
物理・化学的環境・2
不定愁訴・14
ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群・12
不妊・14
不妊手術・15
不妊症・5
不妊治療・1, 22
フリードマンの頸管開大曲線・18
文化的背景・22
分娩・3, 6, 7
分娩開始・6, 7, 17
分娩外傷・11, 24
分娩介助時の技術・19
分娩介助の原理・19
分娩期・7
分娩期の評価・13
分娩経過・7, 18, 22
分娩経過の異常・10
分娩後2時間までのケア・19
分娩時出血多量・10
分娩所要時間・7, 18
分娩進行の促進・18
分娩侵襲・23
分娩体位・19
分娩の三要素・6
分娩の前兆・7

分娩費用・28
分娩誘発・促進法・20
分娩様式・22
分娩予定日・16

へ

閉経・14
ベッサリー・15
ヘルパンギーナ・12
娩出力・6, 9
娩出力の異常・20

ほ

防災・防火訓練・30
防災設備・30
放射線・2
帽状腱膜下血腫・7
帽状腱膜下出血・11
法的責務・30
法的定義・28
保温・19, 23
保健師助産師看護師法・1, 29
保健指導・27
保健所・27
母子愛着形成促進・23
母子及び寡婦福祉法・27
母子関係確立・24
母子感染・9
母子接触・23
母子相互関係の成立・25
母児同室・23
母子保健・26
母子保健活動・27
母子保健関係法規・26
母子保健行政・26
母子保健事業計画・27
母子保健センター・27
母子保健法・14, 29
保清・23
母性・2
母性意識・6, 16
母体・7
母体栄養・6
母体-胎児間の免疫・6
母体の合併症・22

母体搬送 ・16
母体保護 ・1
母体保護法 ・14, 29
ボディ・イメージの変化 ・16
哺乳 ・8, 23
母乳育児 ・17, 21, 29
母乳移行 ・3
母乳栄養 ・21
母乳分泌促進法・抑制法 ・21
哺乳量 ・12
哺乳量の評価 ・21
ホルモン ・5
ホルモン補充療法 ・14

ま

マイナートラブル ・16
麻疹 ・12
マタニティブルーズ ・10, 22
麻痺 ・11

み

味覚 ・8
未熟児くる病 ・12
未熟児動脈管開存症 ・12
未熟児貧血 ・12
未熟児骨減少症 ・12
未熟児網膜症 ・12
民間組織 ・27
民法 ・29

む

無呼吸発作 ・12
無痛分娩 ・6

め

メタボリックシンドローム ・4
免疫 ・5, 8, 11
免疫学的機能 ・6

免疫学的妊娠反応 ・16
免疫系 ・5
免疫能 ・6

も

問診 ・15, 16
問題解決 ・1
問題解決プロセス ・13

や

薬事法 ・14, 29
薬物 ・2, 3
薬物乱用 ・2

ゆ

有害物質 ・2
有機水銀 ・4
誘発分娩 ・6
輸液管理 ・24
癒着胎盤 ・8

よ

養育医療 ・29
養育環境 ・12
溶血性連鎖球菌感染症 ・12
擁護 ・1
葉酸 ・6
幼児期 ・25, 26
幼児死亡 ・26
用手剥離 ・20
羊水 ・5, 18
羊水塞栓 ・10, 20
羊水の性状 ・18
羊水の量 ・18
羊水量 ・16
羊水量の異常 ・9
予後 ・12
予後不良児 ・1, 22

予防接種 ・8, 25, 27
与薬 ・23

ら

ライフサイクル ・2, 26
卵管の障害 ・5
卵子のエイジング ・5
卵巣機能 ・3
卵巣嚢腫合併妊娠 ・9
卵胞発育 ・3, 5
卵膜 ・5, 18

り

リスク因子 ・12
リスクマネジメント ・30
離乳 ・27
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ ・1
流産 ・8, 14, 22, 26
両親学級 ・14
リラクゼーション ・19
淋菌感染症 ・4

れ

レオパルト触診法 ・15

ろ

労働関係法律 ・29
老年期 ・2, 4, 14
ロタウイルス ・12

わ

ワルファリン ・4
腕神経叢麻痺 ・11